

資 料

「元気そらち！産炭地域活性化促進事業」について

1. 事業の目的

空知産炭地域においては、炭鉱閉山に伴う国、道、各市町による各種振興策が講じられ、企業誘致や炭鉱遺産を活用した民間活動団体の取組の醸成など一定の成果が得られましたが、空知産炭地域市町の財政状況の悪化や地域の経済的・社会的な課題が未だ解決されず、かつてないほどに厳しい状況となっています。

このため、空知支庁では、2007（平成 19）年度から、空知産炭地域の民間主導による自立化を促進するため、「元気そらち！産炭地域活性化促進事業」に着手し、「空知産炭地域活性化戦略会議」などの開催を通じて、民間主導の自立的・継続的な地域活性化運動の手法と実践についての活性化策をとりまとめ提言しようとするものです。

2. 事業の進め方

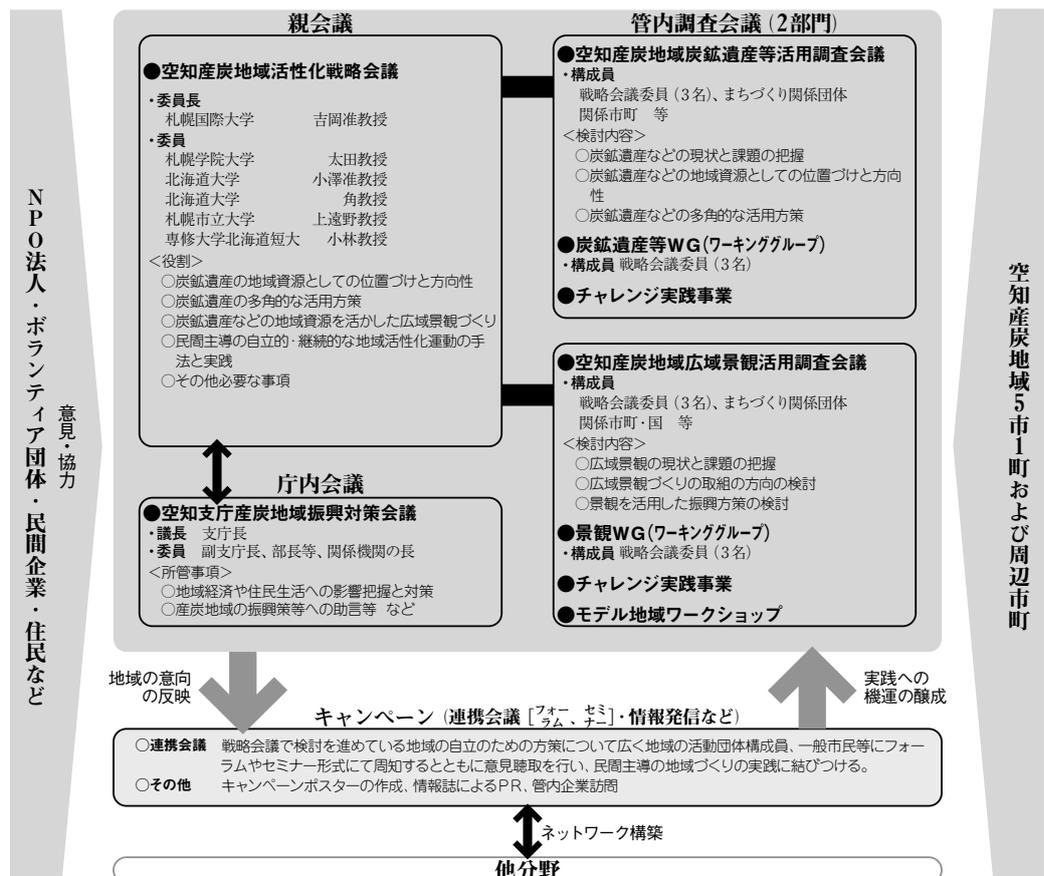
① 「空知産炭地域活性化戦略会議」における検討

学識経験者 6 名で構成される「空知産炭地域活性化戦略会議」を設置し、その下に関係市町職員や地域づくり団体役員を構成員とする 2 つの調査会議（炭鉱遺産の多角的な活用方策などの検討を行なう「空知産炭地域炭鉱遺産等活用調査会議」と炭鉱遺産などの地域資源を活かした広域景観づくりなどについて検討を行なう「空知産炭地域広域景観調査会議」とワーキンググループ（「WG」）を設置し、検討を進めました。

また、2008（平成 20）年度からは、活性化策の検証のため具体的な取組を行う「チャレンジ実践事業」や、民間主導の円滑な取組が図られるよう、地域住民との「モデル地域ワークショップ」を実施しました。

② キャンペーンの実施

空知産炭地域市町のイメージアップと交流人口の拡大を図るため、炭鉱遺産などの地域資源の魅力をポスター・マップでの紹介、新聞・写真雑誌への広告掲載のほか、工業団地を紹介するパンフレットを作成しました。また「空知産炭地域活性化戦略会議」の検討状況を広く周知し、地域づくりの実践に結びつくよう促すため連携会議を開催しました。



< 参考 > これまでの地域政策推進事業（支庁独自事業）の取り組み

空知支庁では、1998（平成 10）年度に産炭地域の新しいまちづくりに向け、**そらち・炭鉱の記憶発掘事業**を立案、空知管内の基幹産業として地域を支えた石炭産業が有した炭鉱関連施設を炭鉱遺産として位置づけ、これらの現状を調査し、地域住民とともに炭鉱遺産を活用した地域づくりの取り組みを始めました。1999（平成 11）年度からは、**そらち・炭鉱の記憶推進事業**を実施し、炭鉱遺産を活用した地域づくりに関する**そらち・炭鉱の記憶コミュニティミュージアム基本構想**を取りまとめました。2001（平成 13）年度からは、**そらち・炭鉱のまちからの挑戦事業**を実施し、地域づくり団体の主体的・広域的な活動展開への支援、あるいはファンクラブの設立による支援基盤の拡大に取り組んできました。

2004（平成 16）年度から 2005（平成 17）年度にかけては、**空知産業遺産活用自立化促進事業**を実施し、従来の取り組みを基礎とし、炭鉱遺産を含めた産業遺産の活用による地域づくりを自立的・継続的な住民活動とするため、「自立化促進検討会」や「産業遺産活用地域連携実践事業」などの取り組みを進めました。

空知産炭地域活性化戦略会議設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、空知産炭地域の自立化、活性化に向け、より高い見地から活性化策の検討を行い、スピード感をもって実践に結びつけることを目的とした、空知産炭地域活性化戦略会議（以下、「戦略会議」という。）の設置及びその運営に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 戦略会議は、次の事項について検討を行う。

- (1) 炭鉱遺産の地域資源としての位置づけと方向性について
- (2) 炭鉱遺産の多角的な活用方策について
- (3) 炭鉱遺産などの地域資源を活かした広域景観づくりについて
- (4) 民間主導の自立的・継続的な地域活性化運動の手法と実践について
- (5) その他、空知産炭地域の活性化・自立化に必要な事項について

(構成)

第3条 戦略会議は、次に掲げる者のうちから、空知支庁長が委嘱する者（以下「委員」という。）をもって構成する。

- (1) 学識経験者
 - (2) その他、戦略会議の目的を達成するために適当と認める者
- 2 委員の任期は、委嘱の日から平成21年3月31日までとする。
 - 3 委員が任期期間中に欠けた場合における補充された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 戦略会議に、委員長1名を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により決定する。
- 3 委員長は、会務を総理し、戦略会議を代表する。
- 4 委員長に事故あるときは、代理を委員の互選により決定し、その職務を代行する。

(戦略会議の開催)

第5条 戦略会議は、委員長が招集し、主宰する。

- 2 委員長は必要に応じ、戦略会議に構成員以外の関係者の出席を求めることができる。

(調査会議の設置)

第6条 戦略会議の下に次の調査会議を設置する。

- (1) 空知産炭地域炭鉱遺産等活用調査会議
 - (2) 空知産炭地域広域景観調査会議
- 2 各調査会議に、戦略会議委員の中から互選により、座長1名を置く。
 - 3 各調査会議は、座長が指名した者で構成する。

(雑則)

第7条 戦略会議に関する庶務は、空知支庁地域振興部地域政策課において処理する。

- 2 この要綱に定めるもののほか、戦略会議の運営に関して必要な事項は、委員長が戦略会議に諮って定めるものとする。

附則

この要綱は、平成19年4月18日から施行する。

この要綱は、平成20年4月8日から施行する。

空知産炭地域活性化戦略会議名簿

	氏名	所属・職名	調査会議
委員	太田 清澄	札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科教授	炭鉱遺産等
委員	小澤 丈夫	北海道大学大学院工学研究科准教授	景観
委員	角 幸博	北海道大学大学院工学研究科教授	炭鉱遺産等
委員	上遠野 敏	札幌市立大学デザイン学部教授	景観
委員	小林 昭裕	専修大学北海道短期大学みどりの総合科学科教授	景観（座長）
委員長	吉岡 宏高	札幌国際大学観光学部観光学科准教授	炭鉱遺産等（座長）

空知産炭地域炭鉱遺産等活用調査会議開催要領

(目的)

第1条 空知産炭地域活性化戦略会議設置要綱第6条に基づき、炭鉱遺産の地域資源としての位置づけや多角的な活用方策などについて調査・検討を行うため、空知産炭地域炭鉱遺産等活用調査会議（以下、「炭鉱遺産等調査会議」という。）を開催する。

(業務)

第2条 炭鉱遺産等調査会議は、次の事項を所掌する。

- (1) 炭鉱遺産などの現状と課題の把握について
- (2) 炭鉱遺産などの地域資源としての位置づけと方向性について
- (3) 炭鉱遺産などの多角的な活用方策について
- (4) その他必要な事項について

(構成)

第3条 炭鉱遺産等調査会議は、別表に掲げるもので構成する。

- 2 座長は、必要に応じ、炭鉱遺産等調査会議に構成員以外の出席を求めることができる。

(会議)

第4条 炭鉱遺産等調査会議は、座長が必要と認めた場合に招集し、これを主宰する。

- 2 炭鉱遺産等調査会議に空知産炭地域活性化戦略会議委員から構成されるワーキンググループ（以下「炭鉱遺産等WG」という。）を設置する。
- 3 座長は、必要に応じ、炭鉱遺産等WGを開催することができる。
- 4 座長は、必要に応じ、炭鉱遺産等WGに炭鉱遺産等調査会議構成員の出席を求めることができる。

(雑則)

第6条 炭鉱遺産等調査会議の庶務は、空知支庁地域振興部地域政策課及び産業振興部商工労働観光課において処理する。

- 2 この要領に定めるもののほか、炭鉱遺産等調査会議の運営に関し必要な事項は、座長が炭鉱遺産等調査会議に諮って定めるものとする。

(附則)

この要領は、平成19年4月18日から施行する。

この要領は、平成19年5月28日から施行する。

空知産炭地域炭鉱遺産等活用調査会議委員名簿

所属	氏名	備考
札幌国際大学観光学部観光学科准教授	吉岡 宏高	戦略会議委員長、調査会議座長
北海道大学大学院工学研究科教授	角 幸博	戦略会議委員
札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科教授	太田 清澄	〃
NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団副理事長	青木 隆夫	まちづくり
赤平コミュニティガイドクラブ「TANtan」代表	三上 秀雄	〃
みかさ・炭鉱の記憶再生塾事務局長	伊佐治 知子	〃
歌志内市郷土館支援組織「ゆめつむぎ通信員」会長	三戸 満雄	〃
夕張市地域再生推進室長	畑山 栄介	行政
岩見沢市企画財政部企画室長	新林 裕幸	〃
美唄市総務部地域経営室長	伊藤 敦史	〃
芦別市総務部企画課長	稲場 厚一	〃
赤平市企画財政課長	伊藤 寿雄	〃
三笠市企画経済部企画振興課長	須河 恵介	〃
滝川市総務部企画課長	館 敏弘	〃
歌志内市産業建設課主幹	佐藤 守	〃
上砂川町企画産業課長	林 智明	〃

空知産炭地域広域景観活用調査会議開催要領

(目的)

第1条 空知産炭地域活性化戦略会議設置要綱第6条に基づき、炭鉱遺産などの地域資源を活かした広域景観づくりなどについて調査・検討を行うため、空知産炭地域広域景観調査会議(以下、「景観調査会議」という。)を開催する。

(業務)

第2条 景観調査会議は、次の事項を所掌する。

- (1) 空知産炭地域における広域景観の現状と課題の把握について
- (2) 空知産炭地域における広域景観づくりの取組の方向について
- (3) 景観を活用した空知産炭地域の振興方策について
- (4) その他必要な事項について

(構成)

第3条 景観調査会議は、別表に掲げるもので構成する。

- 2 座長は、必要に応じ、景観調査会議に構成員以外の出席を求めることができる。

(会議)

第4条 景観調査会議は、座長が必要と認めた場合に招集し、これを主宰する。

- 2 景観調査会議に空知産炭地域活性化戦略会議委員から構成されるワーキンググループ(以下「景観WG」という。)を設置する。
- 3 座長は、必要に応じ、景観WGを開催することができる。
- 4 座長は、必要に応じ、景観WGに景観調査会議構成員の出席を求めることができる。

(雑則)

第6条 景観調査会議の庶務は、空知支庁産業振興部建設指導課において処理する。

- 2 この要領に定めるもののほか、景観調査会議の運営に関し必要な事項は、座長が景観調査会議に諮って定めるものとする。

(附則)

この要領は、平成19年4月18日から施行する。

この要領は、平成19年5月28日から施行する。

空知産炭地域広域景観活用調査会議委員名簿

所属	氏名	備考
専修大学北海道短期大学みどりの総合学科教授	小林 昭裕	戦略会議委員、調査会議座長
北海道大学大学院工学研究科准教授	小澤 丈夫	戦略会議委員
札幌市立大学デザイン学部教授	上遠野 敏	戦略会議委員
NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団副理事長	植村 真美	まちづくり団体等
NPO 法人アルテピアッツァびばい	伊東 奈美	〃
NPO 法人三笠森水遊学舎理事長	高篠 和憲	〃
NPO 法人ゆうばり観光協会理事長	高村 健次	〃
(財)いわみざわ地域交流センター専務理事	野村 悟	〃
夕張市建設課長	細川 孝司	行政(管内市町)
岩見沢市建設部都市計画課長	佐藤 克弘	〃
美瑛市都市整備部都市計画課長	山田 富昭	〃
芦別市建設部都市建設課長	白間 和義	〃
赤平市建設課長	熊谷 敦	〃
三笠市企画経済部企画振興課長	須河 恵介	〃
滝川市総務部企画課長	館 敏弘	〃
砂川市総務部広報広聴課長	湯浅 克己	〃
歌志内市産業建設課長	柴田 一孔	〃
奈井江町まちづくり課長	碓井 直樹	〃
上砂川町企画産業課長	林 智明	〃
北海道開発局事業振興部都市住宅課課長補佐	小澤 雅幸	行政(国・道)
札幌開発建設部地域振興対策室長	渡辺 幸宏	〃
石狩川開発建設部地域振興対策室長	羽山 英人	〃
北海道建設部まちづくり局都市計画課主幹	友原 政彦	〃
(株)シー・アイ・エス計画研究所	濱田 暁生	

「元気そらち!産炭地域活性化促進事業」実施経過

月日	戦略 会議	調査会議 炭鉱 景観	ワーキング 炭鉱 景観	モデル地域WS 三笠 赤平	キャンペーン、チャレンジ実践事業、PR事業など
■ 2007 (平成 19) 年度					
5月23日	第1回				
5月30日			第1回	第1回	
6月09日	現地調査				
6月15日			第2回		
6月20日				第2回	
6月22日	現地調査				
7月04日			第3回		
7月11日				第3回	
7月24日			第4回		
8月09日			第5回		
9月03日		第1回		第4回	
9月10日					
9月26日	第2回				
9月下旬~					
10月06-08日					ポスター、チラシ、ガイドマップの配布(道の駅、イベントなど) 「空知産炭地域へ行こう!」の実施(サッポロファクトリー) 北海道新聞でのPR広告の掲載
10月07日					北海道新聞でのPR広告の掲載
10月21日					「元気そらち!産炭地域炭鉱遺産等活用連携会議」の開催
10月31日			第6回		
12月04日				第5回	
12月06日		第2回			
12月26日		第1回			
1月25日			第7回		
2月04日				第6回	
2月12日		第2回			
2月15日			第8回	第7回	
2月29日				第8回	
3月05日		第3回	第3回		
3月14日	第3回				
3月22日					
3月26日					「三池-終わらない炭鉱の物語」上映会の開催(三笠市) 「産炭観光セミナー in 空知」の開催(岩見沢市)
■ 2008 (平成 20) 年度					
4月15日			第1回		
4月22日	第1回				
5月08日				第1回	
5月13日			第2回		
5月27日			第3回		
6月10日		第1回			
6月26日				第2回	
7月06日					タウンウォッチング(夕張市)
7月08日			第4回	第3回	
7月22日			第5回		
7月29日				第1回	
7月30日					第1回
8月08日		第1回			
8月11日			第6回		
9月10日				第2回	
9月12日				第2回	
9月16日			第7回	第4回	
9月26日			第8回		
10月18日					タウンウォッチング(三笠市)
10月19日					炭鉱住宅オープンハウス(夕張市)
10月20日			第9回		
11月05日				第5回	
11月11日			第10回		
11月17日					第3回
12月19日				第3回	
12月01日			第11回		
12月03日					第4回
12月09日				第4回	
12月中旬					産炭地域企業誘致・雇用促進パンフレット
12月22日			第12回	第6回	
1月16日					炭鉱の記憶探検モニターツアー(歌志内市、赤平市)
1月19日			第13回	第7回	
1月30日		第2回	第2回		
2月18日			第14回	第8回	
2月下旬					PRポスター・チラシ配布
3月12日	第2回				
3月19日					アサヒカメラ広告掲載
3月下旬					そらち炭鉱のまちガイドマップ・チラシ配布
3月28日					『炭鉱の記憶』で地域づくりフォーラム(岩見沢市)

地域資源の総括表 ①

	A6 夕張上流部	A7 南部・清水沢	D1 栗山	B2 美流渡・万字	A1 岩見沢
立坑		△北炭清水沢			
ズリ山	●北炭夕張(高松) △北炭夕張(福住)	●北炭清水沢 ●北炭鹿島 ●北夕 ○三菱大夕張		●万字[+階段] ○北星美流渡(東幌) △北星美流渡(上美流渡)	
生産施設	○坑口(天龍など多数) △輸車路など輸送施設	●北炭清水沢発電所 ●北炭清水沢ダム ○北炭清水沢鉱務所		△北炭送電線鉄塔	
炭住・市街地	○木造職員集宅(平和)	●改良住宅(宮前・清陵) ●木造職員住宅(南部) ○清水沢市街地		●木造鉱員住宅(奈良他) ○美流渡市街地 ○美流渡ジャンプ台 △万字市街地	△駅周辺飲食店街
鉄 道	○夕張鉄道(サイクリングR) ○鹿ノ谷駅 ○SL館	●大夕張鉄道保存車両 ○大夕張鉄道跡(放置) ○森林鉄道跡(三弦橋) ○清水沢駅		○志文駅 △上志文駅 △朝日駅 △鉄道跡(転用・放置) △鉄道資料室	●岩見沢駅(跨線橋など) ○操車場・機関区跡
歴史的建造物	●旧北炭鹿ノ谷倶楽部 ○夕張協会 △夕張神社	○大夕張営林署	○酒造蔵		●レールセンター
文化教育施設	●石炭博物館・模擬坑道 ●炭鉱生活館				
ア ー ト	○夕張市美術館 ○富山哲雄 ○炭鉱写真 ○石炭博物館収蔵作品		△小林酒造収蔵品	●アートビレッジ	○教育大学岩見沢校
産 業 的 自 然	△炭住跡	●ダム湖 ●地質擾乱(清水沢ダム)		○万字鉱周辺	△操車場跡
市 民 活 動	△三番方倶楽部 △JC	●大夕張鉄道保存会 △シューパロ塾		△万字地区(植樹)	△他のNPO △JC
地 形 ・ 自 然	○シューパロ湖 ○滝ノ上公園				
産 業					○レールセンター ○岩見沢運転所
ア ク テ ィ ビ テ ィ ー	●マウントレースイスキー場		●北の錦(工場見学)	○萩の山市民スキー場	○岩見沢公園パラ園 ○あやめ公園
食	○シナモンドーナツ ○藤の家、のんき食堂 ○おーぬま	●夕張メロン ○ながいも	○北の錦レストラン ○栗饅頭	○果樹園群 ○リンゴジュース	○宝水ワイナリー ○焼き鳥三船 ○こもろそば
温 泉 ・ 宿 泊	●ホテルレースイ ●ホテルシューパロ ●ひまわり ○ユーパロの湯		○天然温泉くりやま ○シャトレーゼ	●メープルロッジ ○栗沢温泉 ○錦園	○岩見沢温泉なごみ ○北村温泉 ○ホテルサンプラザ
イ ベ ン ト	② ファンタスティック映画祭 ⑩もみじ祭り				⑦ 彩花まつり ⑨ 百餅まつり

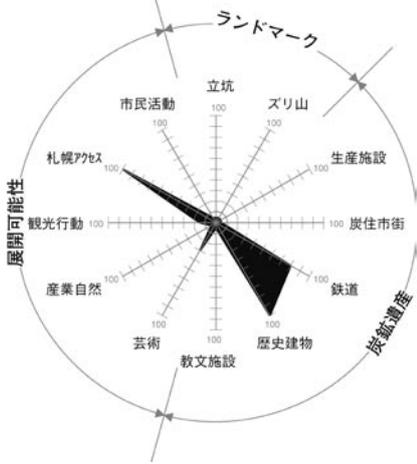
地域資源の総括表 ②

	A4 幌 内	A5 唐松・弥生・幾春別	B1 南 美 唄	A3 美 唄 (盤の沢)
立坑	△北炭幌内(布引)	●北炭幌内入気 ●住友奔別 ●北炭幾春別跡		○三菱美唄入気 ○三菱美唄排気
ズリ山	○北炭幌内×4	△幌内立坑ズリ山 △住友奔別[整備済]		
生産施設	●幌内選炭機跡 ●坑口(布引・常磐)	○北炭新幌内坑口選炭施設跡 ●住友奔別選炭機 ●奔別斜坑周辺施設 △弥生斜坑周辺施設	△坑口(水平坑) △ボイラー煙突	△三菱美唄原炭ホッパー △三井美唄原炭ホッパー
炭住・市街地	○幌内市街地 ○改良住宅(幌内・住吉)	△改良住宅(唐松・弥生) ○木造鉱員住宅(弥生) ○幾春別市街地	●木造職員住宅 ●木造鉱員住宅 ●南美唄市街地	△我路市街地 △木造鉱員炭住(東明)
鉄 道	●幌内線(レール) ●鉄道記念館 ●車両展示	○唐松駅 ○森林鉄道(サイクリングR) △萱野駅		○東明駅と保存機関車 ○三菱美唄鉄道跡 (サイクリングR)
歴史的建造物	○幌内変電所 ○伊佐屋ギャラリー △幌内神社 △市街地土蔵	○住友奔別鉱務所 ○住友奔別立坑巻室 △幾春別神社 △市街地土蔵・旧銀行	●福利厚生施設 ●三井美唄鉱業所	○栄小学校 △東明劇場 △沼東中学校 △我路郵便局
文化教育施設	○鉄道記念館 ○アートミュージアム △旧幌内小学校[教育大活動]	○市立博物館 △森林記念館		○美唄市郷土史料館 ○三菱美唄記念館
ア ー ト	○伊佐治コウ ○伊佐屋ギャラリー ○アートミュージアム	△川俣正		●アルテピアッツァ美唄 ●安田侃
産 業 的 自 然	●幌内炭鉱景観公園	○住友奔別選炭機周辺 ○北炭幾春別跡立坑周辺		
市 民 活 動		○NPO三笠森水遊学舎	△びびい炭鉱の記憶再生塾	●NPOアルテピアッツァびびい △びびい炭鉱の記憶再生塾
地 形 ・ 自 然		○達布山展望台		○宮島沼 ○東明公園
産 業		○武部建設		●石炭露天掘り ○雪冷房
ア ク テ ィ ビ テ ィ ー		○みかさ遊園 ○みかさ鉄道歴史村 ○桂沢国設スキー場		●アルテピアッツァ美唄 ○美唄国設スキー場
食		●山崎ワイナリー ○更科食堂 ○市来知スイカ		○焼き鳥 ○中村の鳥めし ○ハスカップ ○米(雪蔵工房)
温 泉 ・ 宿 泊		○桂沢観光ホテル ○湯の元温泉 ○地域健康増進センター ○花月園		○ピノの湯
イ ベ ン ト		⑤ 梅まつり ⑦ 線路の灯り展 ⑧ 北海道盆踊り		⑤ 桜まつり ⑧ 歌舞裸まつり ⑨ 百万凧まつり

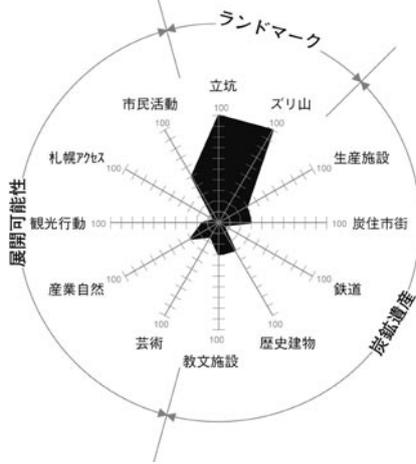
地域資源の総括表 ③

	D2 滝川	C3 上砂川	C1 歌志内上流	A2 赤平	C2 国道452北
立坑		○三井砂川(JAMIC) △三井砂川排気 △三井砂川第一	○空知 ○住友赤平排気	●住友赤平	△三井芦別
ズリ山		○三井砂川 ○にわか山森林自然公園(奈井江:旧ズリ山)	○空知	●赤間[+階段] ○住友赤平	△三井芦別
生産施設			△住友上歌志内ホッパー跡 △空知鉱務所、火薬庫	○北炭赤間ホッパー ○住友赤平発電所 ○住友赤平坑口浴場	
炭住・市街地		△改良住宅(鶯)	○改良住宅(神威)	○赤平市街地	○西芦別市街地 ○改良住宅(頼城・西芦) ○木造鉱員住宅(上芦別) ○芦別市街地
鉄道		△上砂川駅	○歌志内線(サイクリングR)	○赤平駅(跨線橋)	○三井芦別鉄道橋梁・車両 ○三井芦別駅・緑泉駅 ○芦別駅(跨線橋) △三菱芦別鉄道跡(放置)
歴史的建造物	○太郎吉蔵	△三井砂川鉱業所跡 標語塔	○空知鉱倶楽部 △市街地土蔵	○山田御殿[蕎麦店]	○頼城小学校 △上芦別福祉施設群
文化教育施設		△炭鉱生活館 △無重力科学館	●ゆめつむぎ	○赤平市炭鉱歴史資料館	●百年記念館
アート	●五十嵐威暢 △滝川市美術 自然史館	○早川紀良 △創夢会(解散) △奈井江町文化ホール		△2004 インスタレーション △手芸品郵便パック	△「石岡剛の世界」美術館
産業的自然				●赤間～赤平選炭機周辺	○一坑周辺 ○二坑選炭機周辺 △三段滝(地層擾乱)
市民活動	○NPOアート チャレンジ滝川	△創夢会	●ゆめつむぎ通信員	●TANTAN ○炭鉱資料収集保存会 △JC	△JC
地形・自然	○丸加高原 ○砂川オアシスパーク		○かもい岳自然公園		○三段滝
産 業		●ソメスサドル(砂川)	●石炭露天掘り	○いたがき ○植松電機	○北日本精機
アクティビティ		○上砂川岳日本庭園 ●北海道子どもの国(砂川)	○かもい岳スキー場		○カナディアンワールド公園 ○国設芦別スキー場
食	●ジンギスカン ●スイーツ(砂川)		○歌志内太陽ファーム ○なんこ	○ガンガン鍋 ○塊炭飴	○ガタタン
温泉・宿泊		○パンケの湯 ○北の湯(奈井江)	○チロルの湯	○エルム高原温泉	●スターライトホテル ○芦別温泉 ○北の京芦別
イベント	⑥菜の花まつり		②なまはげ祭り	④らんフェスタ ⑦火まつり	⑧健夏まつり ⑧キャンドルアート ⑪芦別映画学校

A1 岩見沢



A2 赤平



A3 美唄 (盤の沢)



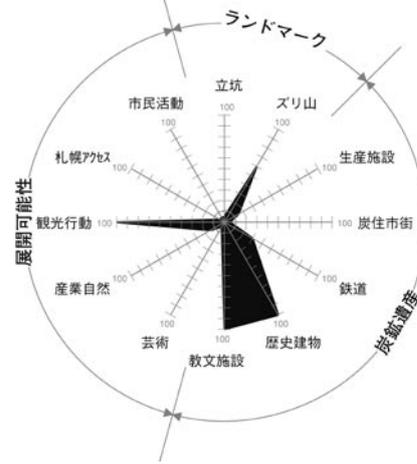
A4 幌内



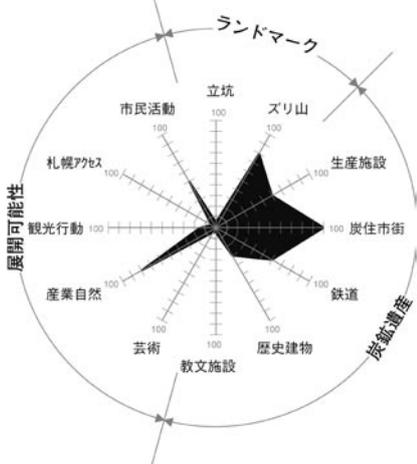
A5 唐松・弥生・幾春別



A6 夕張上流部



A7 清水沢・南部



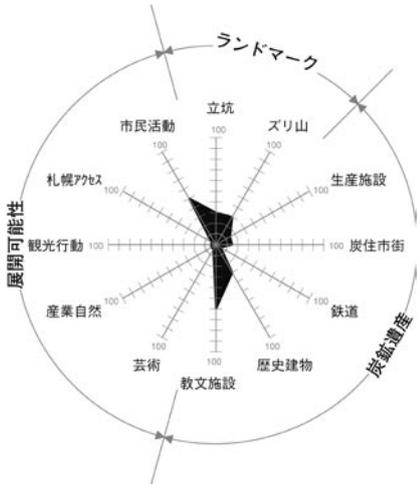
B1 南美唄



B2 美流渡・万字



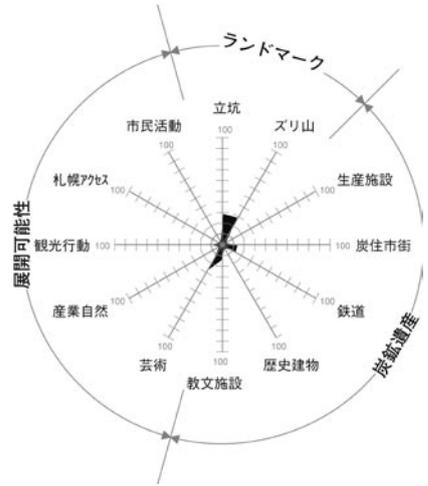
C1 歌志内上流部



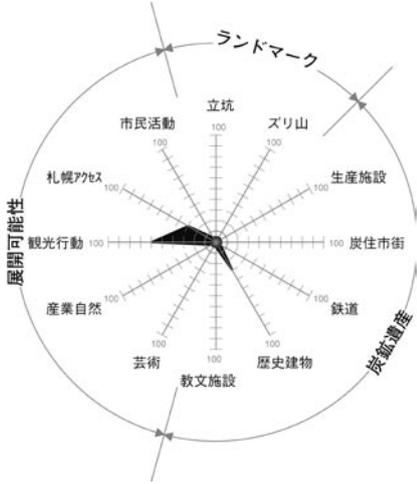
C2 芦別 (国道 452 号北)



C3 上砂川



D1 栗山



D2 滝川



元気そらち！産炭地域活性化戦略

2009（平成 21）年 3 月

北海道空知支庁

地域振興部 地域政策課
産業振興部 商工労働観光課
産業振興部 建設指導課

〒 068-8558 岩見沢市 8 条西 5 丁目

☎ 0126-20-0034